

れい わ な ね ん
令和七年 一・二・三月の詩

ほしと たんぽぽ

か ね こ
金子 みすず

あおい おそらの そこ ふかく、
うみの こいしの そのように、
よるが くるまで しずんでる、
ひるの おほしは めに みえぬ。
みえぬけれども あるんだよ、
みえぬ ものでも あるんだよ。

ちつて すがれた たんぽぽの、
かわらの すきに、 だアまって、
はるの くるまで かくれてる、
つよい その ねは めに みえぬ。
みえぬけれども あるんだよ、
みえぬ ものでも あるんだよ。

